

# 編 修 趣 意 書

## (教育基本法との対照表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-169	高等学校	地理歴史	日本史 A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	日 A 309	高校日本史 A 新訂版		

### 1. 編修の趣旨及び留意点

教科書の編修にあたっては、学習指導要領解説と検定基準の改正を踏まえ、豊富な資料と平易でわかりやすい記述により基本的な歴史事項をおさえることができるよう配慮した。そのさい、地理的条件との関連付けに加え、日本の歴史を世界の歴史と関連付けながら理解させるよう工夫した。

本文記述を様々な観点から補う特設ページを多数設け、幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるようにした。また、地図や写真・図版を豊富に掲載するページを設け、学習する時代の歴史的背景や特徴をイメージ豊かに学習できるようにした。

さらに、生徒がさまざまな図版資料や統計資料を活用しながら主体的に学び、歴史的思考力を培うことができるような特設ページを設定し、日本国民として国際社会で主体的に生きていく力の育成を図った。

### 2. 編修の基本方針

○ 2 条の目標を達成するため、次の通り編修した。

- ・ 幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本史学習をより深めることができるよう特設ページ「ズームイン」を設けた。また、学習する時代の概観を地理的に把握することができるようにするため、各章の冒頭に見開き 2 ページの世界地図「世界の動きと日本」を掲載した（第 1 号）。
- ・ 個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物を「歴史の群像」で取り上げ、彼らはその能力や創造性によって日本史上に果たした足跡や意義などを記述した。また、生徒が主体的に学習できるようにすべての節のサブタイトルを疑問文として生徒に投げかけたほか、「歴史を考えてみよう」という 5 つの特設ページを設定した（第 2 号）。
- ・ 男女の平等を重んずる態度を養う観点から、「歴史の群像」で各時代の女性を多く取り上げ、その足跡と果たした意義を取り上げた（第 3 号）。
- ・ 生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、日本の自然遺産などを取り上げた。また、産業の発達にともなう社会問題の発生とその克服、核兵器廃絶の課題とその取り組みなどを取り上げた（第 4 号）。
- ・ 伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する態度を養う観点から、日本の文化遺産や近代化産業遺産群、「歴史を視る」「歴史を考えてみよう」「日本の国際貢献・国際理解」などを取り上げた（第 5 号）。

### 3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所
前見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、日本全図を掲載して旧国名と都道府県名を対照させ、その変遷を概観できるようにした（第5号）。</li> <li>・同様の観点および自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から「日本の世界遺産」を日本地図の中で概観できるようにした（第4・5号）。</li> </ul>	前見返し 1～2  前見返し裏 3
第1編 私たちの時代と歴史 運動会の歴史	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、主体的な学習および調査の方法を例示した（第2号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、男性と女性のイラストを採用した（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、運動会の歴史を概観し地域とのつながりを取り上げた（第5号）。</li> </ul>	p. 6～13  p. 6～13  p. 6～13
資料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、前近代の歴史を概観し、東アジア諸国との交流を取り上げた（第1号）。</li> </ul>	p. 14～19
第2編第1章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し 1860 年前後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本史学習を深めることができるように「歴史の展開」として図や表、年表を掲載した（第1号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、岩倉使節団を取り上げた（第1号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、近代の文化などを写真で取り上げた（第5号）。</li> </ul>	p. 22～23  p. 24, 26, 28, 30, 32  p. 35  p. 34  p. 20, 36～37
第2章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し 1880 年前後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、日本の近代化を写真で取り上げた（第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、北海道と沖縄を取り上げた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義などについて記述した（第2号）。</li> </ul>	p. 38～39  p. 40, 42, 44, 48, 50, 52, 56  p. 46～47 p. 54～55  p. 58  p. 59
第3章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し 1900 年前後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、近代天皇制などを取り上げた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・生命を尊び、自然を大切に、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、産業の発達とそれにとともなう社会問</li> </ul>	p. 60～61  p. 62, 66, 68, 70, 72, 76, 78, 82  p. 64, 74, 84  p. 65, 75  p. 78

	<p>題の発生を取り上げた（第4号）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、明治期の美術などを写真で取り上げた（第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本史学習を深められるように、「歴史の展開」として写真や年表を掲載した（第1号）。</li> </ul>	<p>p. 80～81</p> <p>p. 85</p>
第4章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し1920年前後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、アジアの独立運動を取り上げた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、大正期の美術を写真で取り上げた（第5号）。</li> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、日本史上の著名な女性をコラムで取り上げた（第3号）。</li> </ul>	<p>p. 86～87</p> <p>p. 88, 90, 92, 96, 98, 100, 104</p> <p>p. 94, 106</p> <p>p. 95</p> <p>p. 102～103</p> <p>p. 107</p>
第5章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し1940年前後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、教科書の歴史などを取り上げた（第1号）。</li> <li>・個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義などについて記述した（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう「歴史を考えてみよう」と問いかけ、同時に他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、様々な史料をもとに生徒が考察できるようにした（第2・5号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、戦時下の生活を写真で取り上げた（第5号）。</li> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、日本史学習を深めることができるように「歴史の展開」として図や表、年表を掲載した（第1号）。</li> </ul>	<p>p. 108～109</p> <p>p. 110, 112, 116, 120, 122, 124, 130, 134</p> <p>p. 114, 132</p> <p>p. 115, 133</p> <p>p. 118～119</p> <p>p. 126～127</p> <p>p. 128～129</p> <p>p. 136～137</p> <p>p. 139</p>
近代の追究 砂利鉄道ってなんだ？	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女の平等を重んずる態度を養う観点から、男性と女性のイラストを採用した（第3号）。</li> <li>・伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、地域の歴史を概観した（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 140～145</p> <p>p. 140～145</p>
第6章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し第2次世界大戦後の世界を概観させた（第1号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>・自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう「歴史を考えてみよう」と問いかけ、同時に主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点、及び他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、様々な史料をもとに生徒自身が考察できるようにした（第2・3・5号）。</li> </ul>	<p>p. 148～149</p> <p>p. 150, 152, 154, 160, 162, 164, 168, 172, 174, 178</p> <p>p. 156～157</p>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の平等を重んずる態度を養う観点から、日本史上の著名な女性をコラムで取り上げた（第3号）。</li> <li>自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう「歴史を考えてみよう」と問いかけ、同時に他国を尊重し、国際社会の平和と発展に寄与する態度を養う観点から、様々な史料をもとに生徒が考察できるようにした（第2・5号）。</li> <li>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、高度経済成長期の公害問題を取り上げ、その対策としての公害対策基本法の制定や環境庁の設置などを取り上げた（第4号）。</li> <li>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、近現代の日本と東南アジア・韓国・中国との関係などを取り上げた（第1号）。</li> <li>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、戦後の文化を写真で取り上げた（第5号）。</li> </ul>	<p>p. 158～159</p> <p>p. 166～167</p> <p>p. 173</p> <p>p. 170, 171, 177, 180, 181</p> <p>p. 176</p>
第7章	<ul style="list-style-type: none"> <li>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、章の冒頭に世界地図を配し私たちをとりまく世界を概観させた（第1号）。</li> <li>自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的に日本史学習ができるよう、各節冒頭に疑問文のタイトルと具体的な歴史事象「歴史のまど」を配置し、図版と併せて考察できるようにした（第2号）。</li> <li>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、現代の生活文化を写真で取り上げた（第5号）。</li> <li>生命を尊び、自然を大切にし、環境の保全に寄与する態度を養う観点から、核兵器廃絶の課題とその取り組みなどを取り上げた（第4号）。</li> <li>自主及び自律の精神を養うとともに、職業及び生活との関連を重視し、勤労を重んずる態度を養う観点から、「歴史を考えてみよう」と問いかけ、同時に主体的に社会の形成に参画し、その発展に寄与する態度を養う観点から、様々な史料をもとに生徒が考察できるようにした（第2・3号）。</li> <li>幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養う観点から、戦後補償などを取り上げた（第1号）。</li> <li>個人の価値を尊重して、その能力を伸ばし、創造性を培い、自主及び自律の精神を養う観点から、歴史上の著名な人物をコラムで取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義などについて記述した（第2号）。</li> </ul>	<p>p. 182～183</p> <p>p. 184, 186, 188, 190, 194, 196, 198,</p> <p>p. 192～193</p> <p>p. 198</p> <p>p. 200～201</p> <p>p. 202, 204</p> <p>p. 203, 205</p>
現代からの探求 歴史を調べ、歴史に学び、未来をきづく高校生	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女の平等を重んずる態度を養う観点から、男性と女性のイラストを採用した（第3号）。</li> <li>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、松代大本營の歴史を概観した（第5号）。</li> <li>自主及び自律の精神を養う観点から、生徒が興味関心をもって主体的な学習ができるよう、調査の方法を例示した（第2号）。</li> </ul>	<p>p. 206～209</p> <p>p. 206～209</p> <p>p. 206～209</p>
歴代内閣のあゆみ 政党変遷図	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する観点から、歴代内閣のあゆみと政党変遷図を掲載した（第5号）。</li> </ul>	p. 210～213
後見返し	<ul style="list-style-type: none"> <li>伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛するとともに、他国を尊重する態度を養う観点から、日本の国際貢献と日本の戦争加害を写真と図で取り上げた（第5号）。</li> </ul>	<p>後見返し 5～6 後見返し裏 4</p>

#### 4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- 学校教育法第五十一条三項（社会について、広く深い理解と健全な批判力を養い、社会の発展に寄与する態度を養うこと。）に即して、本文記述や特集など教科書全体を通じて、国際社会に生きる高校生が日本の歴史を世界の歴史と関連付けながら理解し、現代社会が抱える課題についても考察することができるよう配慮した。

# 編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表、配当授業時数表)

※受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
27-169	高等学校	地理歴史	日本史A	1～3
※発行者の 番号・略称	※教科書の 記号・番号	※教 科 書 名		
7 実教	日 A 309	高校日本史A 新訂版		

## 1. 編修上特に意を用いた点や特色

「日本史A」が地理歴史科の基礎科目であることを鑑み、生徒が興味・関心を持ちながら、基礎的・基本的な事項を無理なく学習できるように、以下の点について配慮した。

- 1) 近現代を中心とする日本の歴史の大きな枠組みと展開を理解し、興味・関心をもって楽しく日本史を学べるよう、全編にわたって平易な文章表現でわかりやすく記述した。
- 2) 地図や写真など図版を豊富に掲載することにより、歴史をイメージ豊かに学習できるようにした。また、各節のサブタイトルは疑問文とし、生徒自身が興味・関心をもって自ら考えるきっかけとした。
- 3) 各章の冒頭に世界地図を配置し、その章で学習する代表的な歴史事象を掲載し日本と世界の間を視覚的に理解できるようにした。
- 4) 各節の冒頭に「歴史のまど」という具体的なエピソードとそれに関連する図版を配置し、その節の学習内容にスムーズに移行することができるようにした。
- 5) 多様な視点から日本史学習を深め、生徒の興味・関心を高められるよう、社会史などの新しい研究成果を盛り込んだ「ズームイン」を随所に設けた。
- 6) 本文を理解するうえで重要な概念や用語については、側注で丁寧に解説した。
- 7) 歴史上の著名な人物を取り上げ、日本史上に果たした足跡や意義を興味深いエピソードを交えて記述した「歴史の群像」を随所に設けた。
- 8) 幕末の金貨流失の原因となった日本と外国の金銀比価や幕末動乱期の勢力関係など、相互に入り組んだ学習内容には、模式図などを用いて視覚的な理解を助ける「歴史の展開」を随所に設定した。
- 9) 学習指導要領解説の改正をふまえ、領土教育の充実を国境の画定という観点から学習するために「歴史を考えてみよう」という特設ページを設定した。
- 10) 歴史事項を暗記するのではなく、どのように歴史が展開したのかを生徒自らが考え、自らの歴史認識形成をめざして「歴史を考えてみよう」という特設ページを随所に設けた。
- 11) 生徒自らが主体的に学習を進めることができるように、その方法を例示した「調べてみよう」を設置した。

- 12) 生徒自らが課題を設定し、その解決に向けて探求を重ね、その成果を表現するために必要な思考・判断・表現力を養うため、運動会や砂利鉄道、松代大本営などを事例とした探求活動のページを設定した。
- 13) それぞれの歴史事象がどの内閣の時に発生したかを確認するため、歴代内閣のあゆみを設定し、時間的な流れを理解しやすくした。

## 2. 対照表

図書の構成・内容	学習指導要領の内容	該当箇所	配当 時数
第1編 私たちの時代と歴史 運動会の歴史	(1) 私たちの時代と歴史	p. 6～13	3
第1編 資料 東アジアとの交流 第2編 1章 近代への転換 2章 大日本帝国の形成 3章 大日本帝国の展開	(2) 近代の日本と世界 ア 近代国家の形成と国際関係の推移	p. 14～71	19
3章 大日本帝国の展開 4章 両大戦間の世界と日本 5章 15年戦争と日本・アジア	イ 近代産業の発展と両大戦をめぐる国際情勢	p. 72～139	19
近代の追究 砂利鉄道ってなんだ？	ウ 近代の追究	p. 140～145	3
6章 戦後改革と高度経済成長 7章 現代の世界と日本	(3) 現代の日本と世界 ア 現代日本の政治と国際社会	p. 148～205	9
6章 戦後改革と高度経済成長 7章 現代の世界と日本	イ 経済の発展と国民生活	p. 148～205	8
現代からの探求 歴史を調べ、歴史に学び、未来を きづく高校生	ウ 現代からの探求	p. 206～209	3
		計	64